

JSTにおけるプログラムオフィサーの役割

研究推進部長 石田 秋生

2005年1月20日



独立行政法人

科学技術振興機構

Japan Science and Technology Agency

アジェンダ

- JSTの概要
- 戦略的創造研究推進事業について
- チーム型研究(CRESTタイプ)について
- CRESTにおけるPD(研究主監)・PO(研究総括)の役割

科学技術振興機構の沿革

日本科学技術情報センター (昭和32年設立)

新技術開発事業団 (昭和36年設立)

新技術事業団に名称変更
(平成元年)

統合 (平成8年10月1日)

科学技術振興事業団

平成15年10月1日

独立行政法人科学技術振興機構

科学技術振興機構の使命及び業務

機構の使命

技術シーズの創出を目指した、基礎研究から企業化開発までの一貫した研究開発の推進
科学技術情報の流通促進など科学技術の振興基盤の整備
及び を総合的に行い、我が国の科学技術の振興を図ることを使命としています。

機構の業務

新技術の創出に資する研究

国の科学技術政策や社会的・経済的ニーズを踏まえ、
国が定めた戦略目標の達成に向けた基礎研究の推進

- ・戦略的創造研究
- ・社会技術研究
- ・研究開発(R&D)戦略機能 等

新技術の企業化開発の推進

大学等の優れた研究成果の社会還元を目的
とした技術移転関連施策の推進

- ・委託開発
- ・研究成果最適移転
- ・技術移転支援センター
- ・研究成果活用プラザ 等

機構の業務

科学技術情報の流通促進

研究開発に係る情報(文献情報、研究者・
研究機関情報等)を総合的に活用するた
めの基盤整備

- ・文献情報データベース
- ・研究者・研究成果等のデータベース
- ・ハイインフォマティクス推進センター
- ・科学技術情報発信・流通総合システム
等

研究交流・支援

内外の人材交流・支援を通じた科学技術
振興基盤の整備

- ・地域結集型共同研究
- ・地域研究開発促進拠点支援
- ・国際研究交流
- ・異分野研究者交流
- ・重点研究支援協力員派遣 等

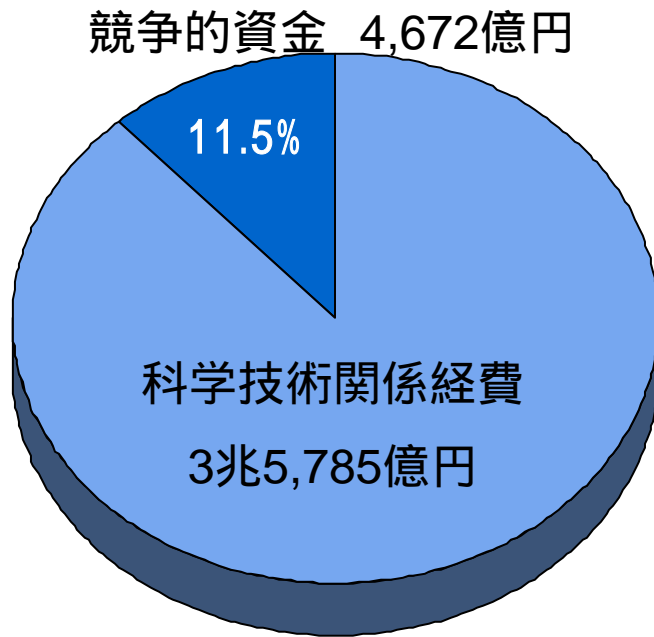
科学技術理解増進

科学技術に関する知識の普及・
国民の関心・理解の増進を通じた
ための科学技術振興基盤の整備

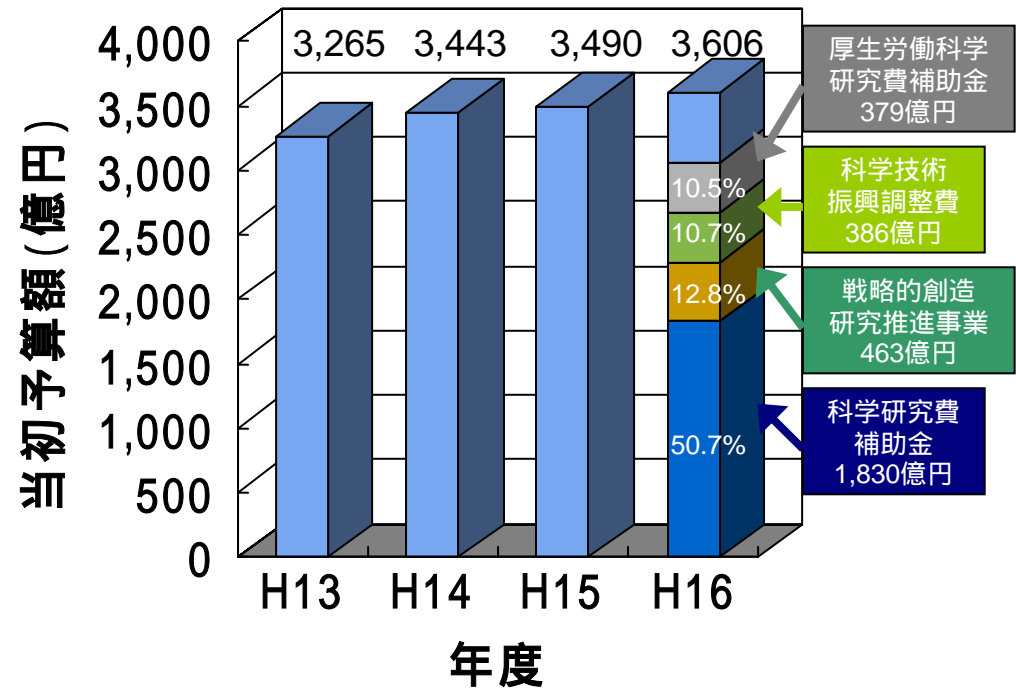
- ・放送技術活用型コンテンツ開発
- ・スーパーサイエンスハイスクール支援
- ・日本科学未来館 等

日本の競争的資金の概要

平成17年度科学技術関係経費に
占める競争的資金

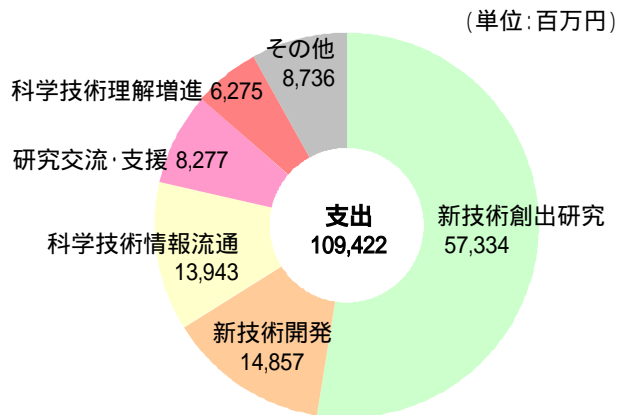
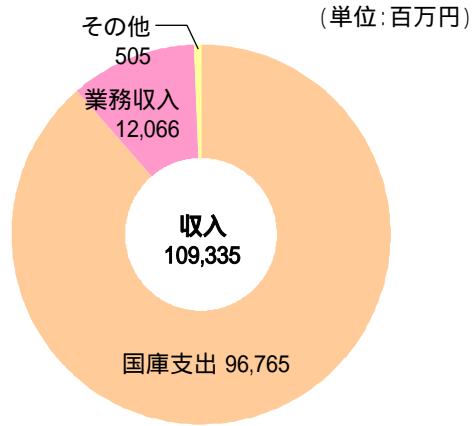


競争的資金予算の推移

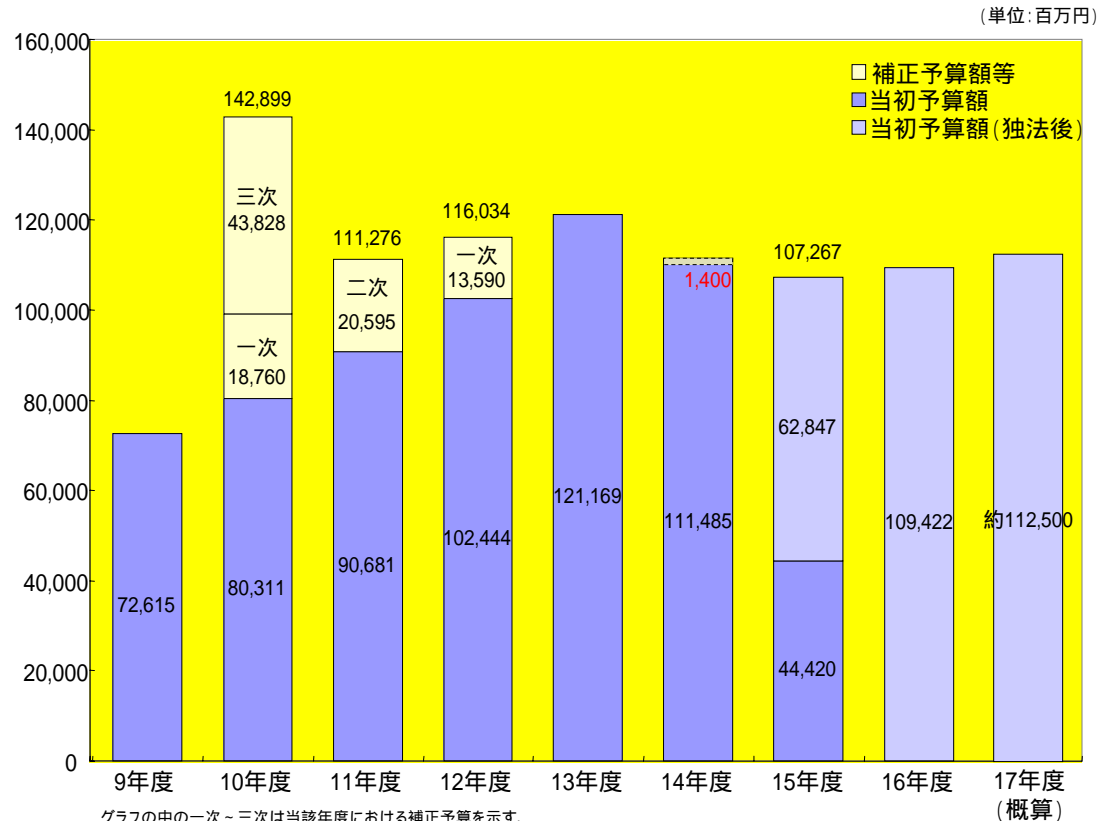


科学技術振興機構の事業予算等 各事業費の割合と総額の推移

平成16年度の収入と支出



総事業費の推移



グラフの中の一次～三次は当該年度における補正予算を示す。

H14年度は一次補正(経済対策による追加支出 3,469百万円を含む)等を考慮した変更認可後の総事業費は 110,085百万円である。

収入と支出の差額は、運営費交付金債務によるもの。

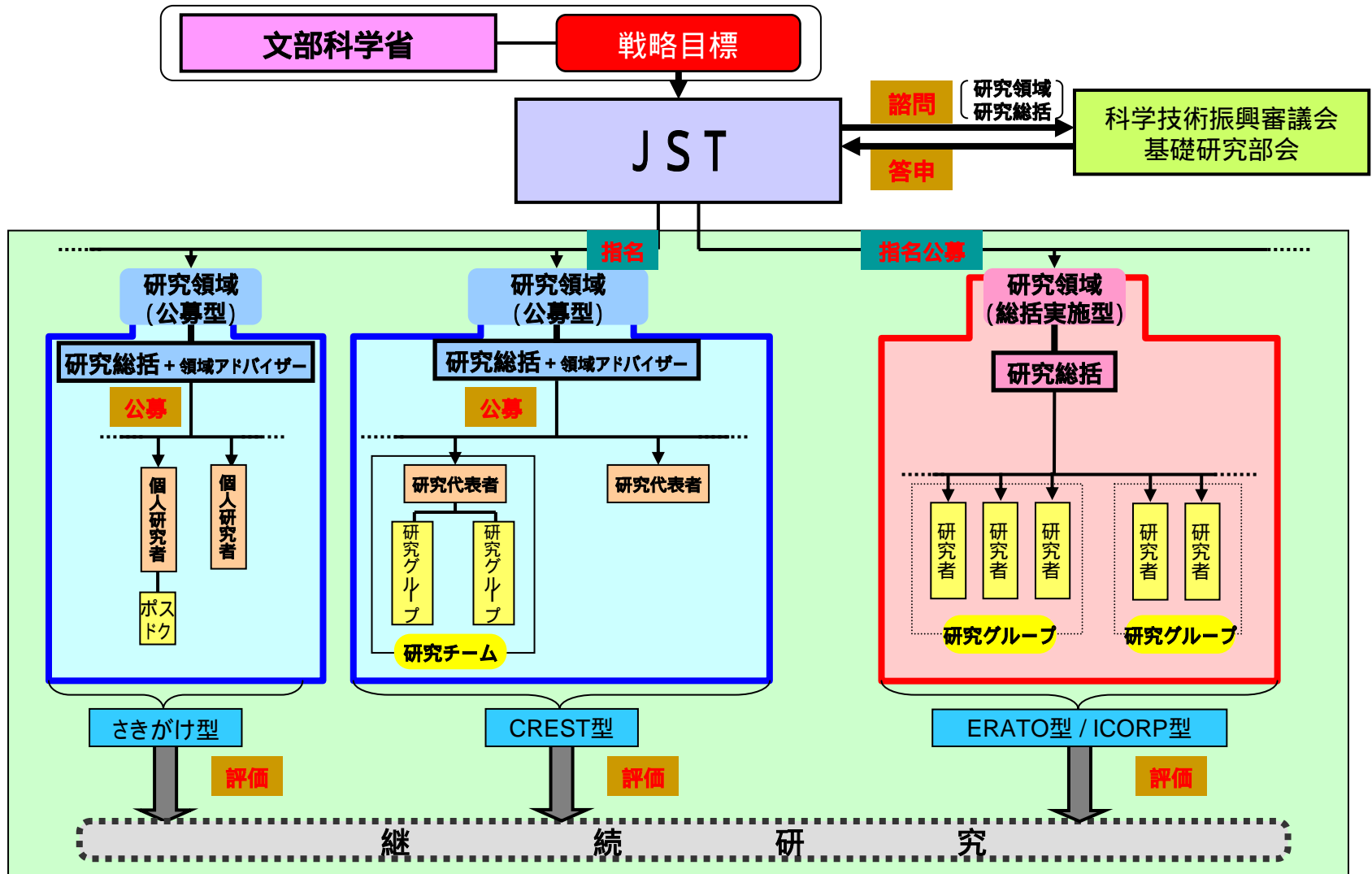
競争的研究資金におけるPD・POの配置状況

事業		単体的創造研究推進事業		社会技術研究(公募型)	先端計測分析技術・機器開発事業	革新技术開発研究事業 (ミレニアム)	大学発ベンチャー創出推進事業	科学技術振興調整費
部署		単体的創造事業本部	(研究開発戦略センター)	社会技術研究システム推進室	先端計測技術推進室	技術展開部	技術展開部	科学技術振興調整費業務室
PD	常勤	1名[兼務]	1名[兼務]	1名[兼務]	1名[兼務]	1名[兼務]	1名[兼務]	なし
	非常勤	[研究主監] 計4名	[センター長] [首席フェロー] 計2名	なし	なし	なし	なし	[運営統括] 計1名
PO	常勤	なし	[フェロー等] 計23名	なし	なし	[プログラムオフィサー] 計10名 技術移転プランナーと兼務	[プログラムオフィサー] 計2名	[プログラム主管] 計5名
	非常勤	[研究統括] 51名	なし	[研究統括] 3名	[開発統括] 4名	なし	なし	[研究領域主管] 27名

戦略的創造研究推進事業について

戦略的創造研究推進事業

-事業の仕組み1-



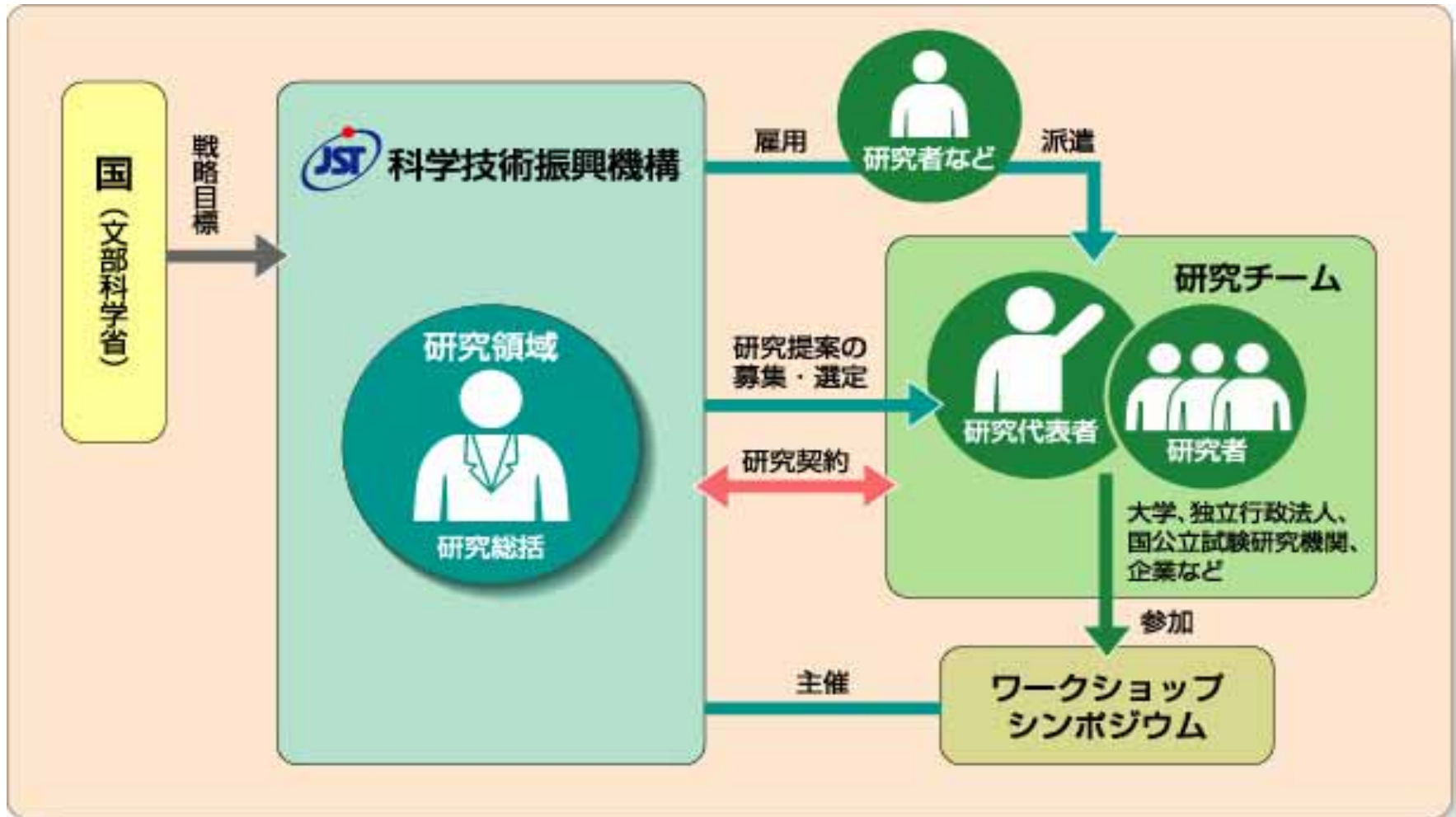
公募型研究

チーム型研究(CRESTタイプ)について

チーム型研究(CRESTタイプ)の実施の概要

公募対象	国内の大学、独立行政法人、国公立試験研究機関、特殊法人、特別認可法人、公益法人、企業等に所属する研究者(外国籍研究者も含む)
研究費	1課題あたり4千万円～2億円/年
研究期間	5年以内
公募分野	第2期科学技術基本計画に示された重点4分野(ライフサイエンス、IT、ナノテクノロジー、環境)を中心に、国の科学技術政策や社会的・経済的ニーズを踏まえ、国が定めた戦略目標の達成に向けた研究領域を設定し公募する
公募回数	1領域あたり年1回の公募を、連続して3年間行う
知財権の帰属	機関帰属(日本版バイドール法の適用) (機関が帰属を望まない場合はJSTとの共有)
研究実施場所	研究契約を締結し、所属機関の施設を利用する
間接経費	委託研究費の30%に相当する額を間接経費として措置

チーム型研究 (CREST) の流れ



戦略的創造研究推進事業におけるPD・PO

■ PD(研究主監)

事業の制度、運営、評価等に関し、意見を述べる

- 研究領域への予算配分等、領域間の調整を行う
- PO(研究総括)との意見交換、領域シンポジウムへの出席や課題の評価会への出席等を通して、担当プログラム全体の研究の進捗状況、成果の概況の把握
- メンバー
 - 常勤1名、非常勤4名

戦略的創造研究推進事業におけるPD・PO

■ PO (研究総括)

研究領域をバーチャルラボとして運営する運営責任者。ラボ長として領域全体のマネジメントを行う

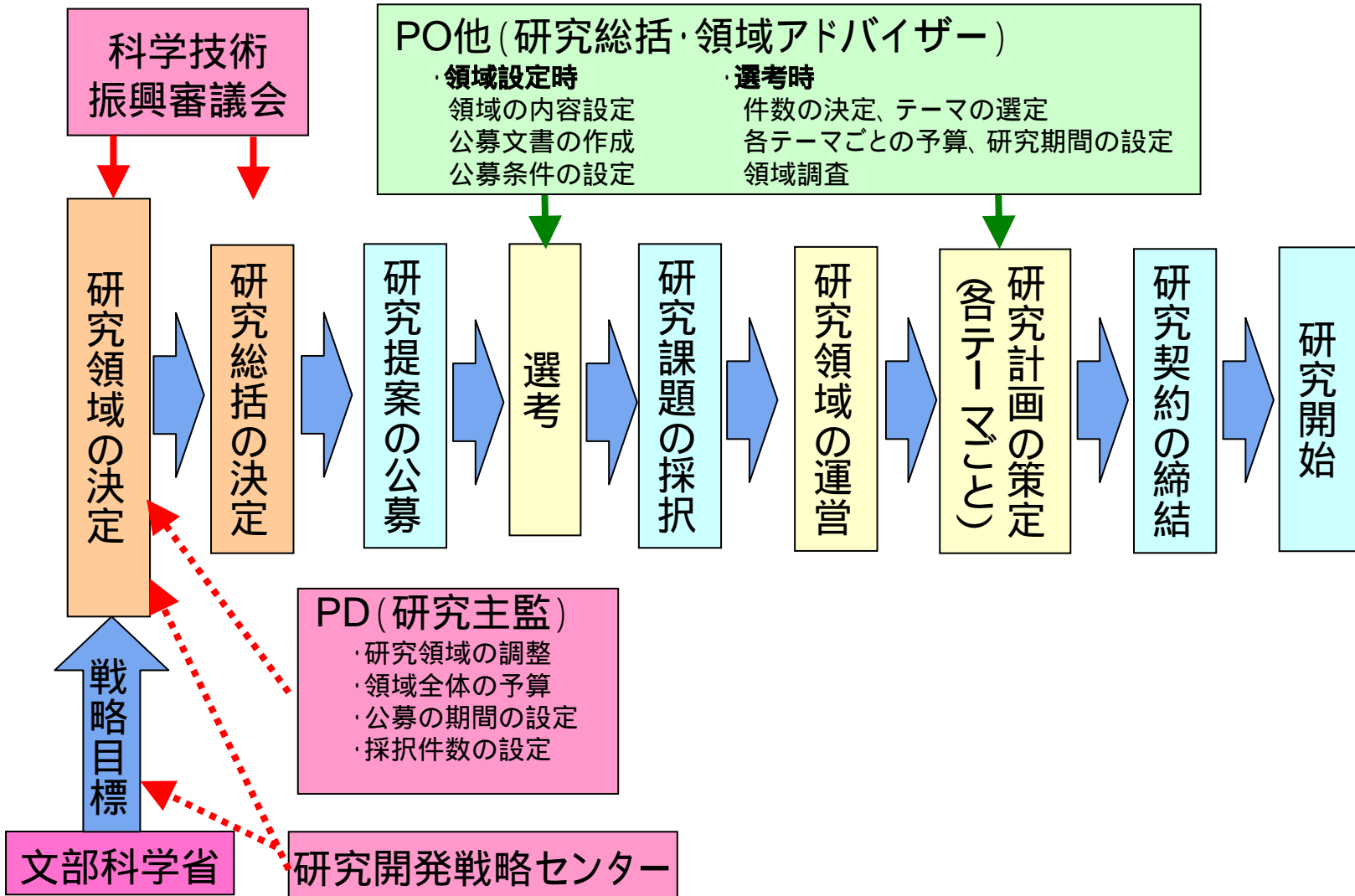
■ バーチャルラボとは

各地に分散する研究者が、領域の目的に沿った研究をおこなうことで、一つのラボとしての機能をもつ

■ 研究総括の役割

- 研究代表者及び研究課題の選考の責任者
- 研究代表者毎の研究計画の立案・研究の実施方策の策定
- 研究のより効率的な推進を目指した毎年度の研究費配分等の調整
- 研究進捗状況の把握
- 研究評価(中間・事後)の責任者
- 研究領域運営状況の報告(シンポジウム等の主催など)
- その他

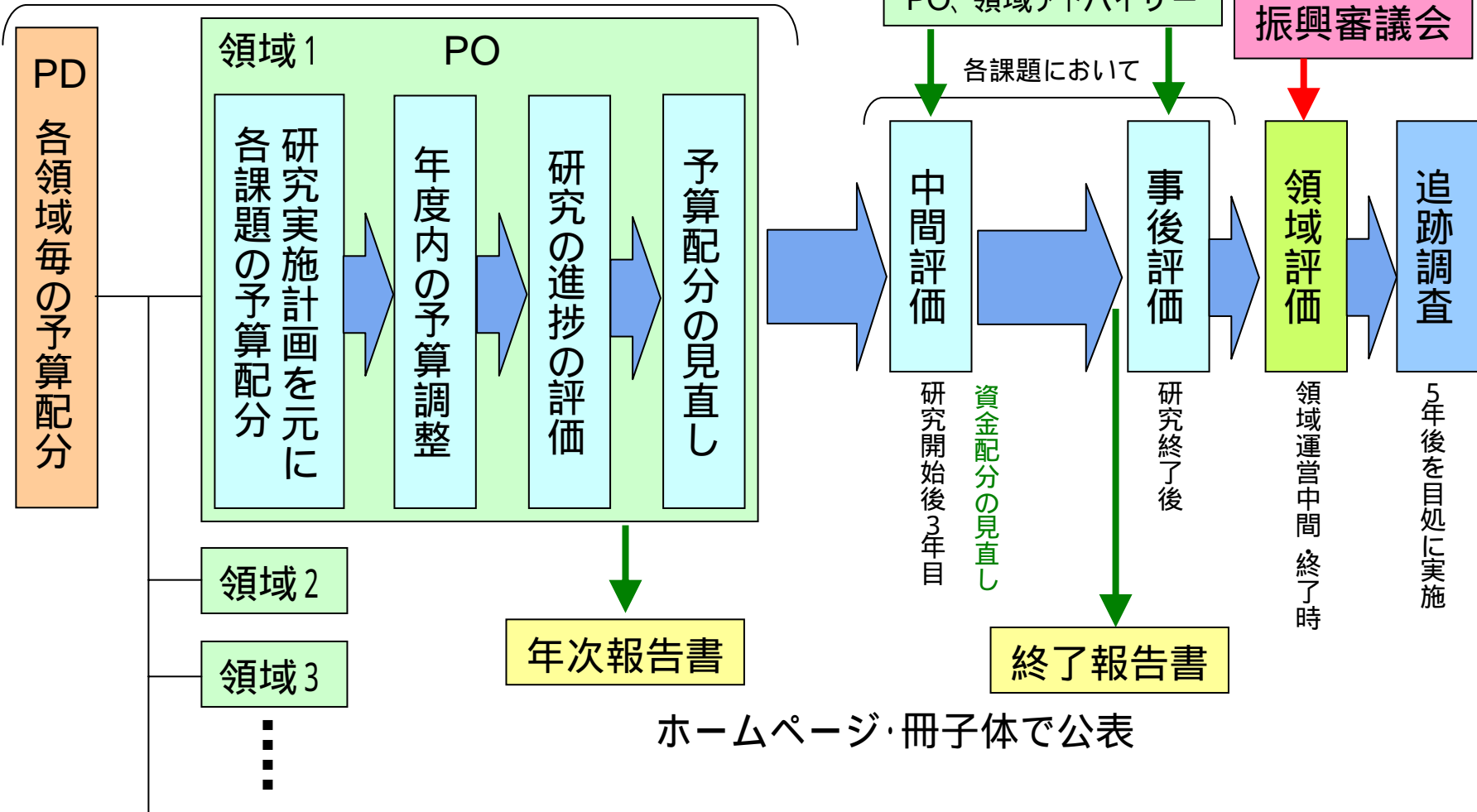
PD・POの役割1 -公募から研究の開始まで-



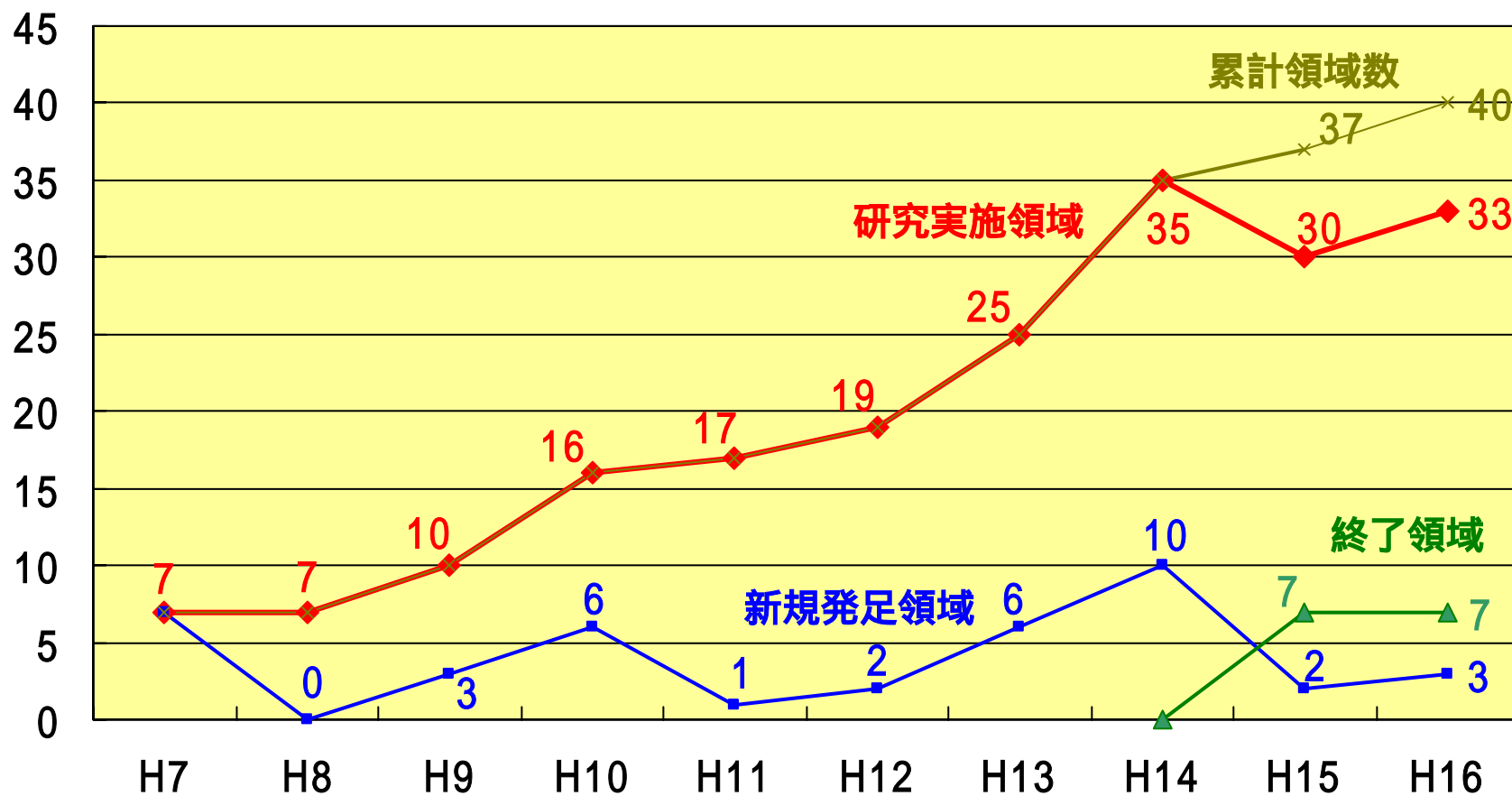
PD・POの役割 2

—領域の運営、研究の評価に関して—

各年度において



研究領域の推移



重点4分野における研究領域の割合

研究領域分野	実施領域		終了領域	総計	
	件数	割合	件数	件数	割合
ライフサイエンス	13	39.4%	3	16	40.0%
情報通信	5	15.2%	0	5	12.5%
環境	3	9.1%	1	4	10.0%
ナノテク・材料	12	36.4%	3	15	37.5%
総計	33		7	40	

研究課題数の推移

件数

